

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成25年1月24日 (2013.1.24)

【公表番号】特表2012-509672(P2012-509672A)

【公表日】平成24年4月26日 (2012.4.26)

【年通号数】公開・登録公報2012-017

【出願番号】特願2011-537703(P2011-537703)

【国際特許分類】

C 1 2 N 7/00 (2006.01)

A 6 1 K 35/76 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

C 0 7 K 16/24 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 7/00 Z N A

A 6 1 K 35/76

A 6 1 P 25/16

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 37/02

C 0 7 K 16/24

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月22日 (2012.11.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

パーキンソン病またはパーキンソン病への易罹患性の処置において使用するための繊維状バクテリオファージであって、前記繊維状バクテリオファージは (i) 哺乳動物細胞内部移行シグナル； (i i) α - シヌクレイン抗原もしくは α - シヌクレイン抗体； (i i i) β - アミロイド抗原もしくは β - アミロイド抗体；または (i v) 炎症誘発性サイトカインに特異的な抗体を提示しない、前記繊維状バクテリオファージ。

【請求項 2】

パーキンソン病に罹患した患者またはパーキンソン病に罹患し易い患者を処置するための組成物であって、前記組成物は繊維状バクテリオファージを含み、前記バクテリオファージは (i) 哺乳動物細胞内部移行シグナル； (i i) α - シヌクレイン抗原もしくは α - シヌクレイン抗体； (i i i) β - アミロイド抗原もしくは β - アミロイド抗体；または (i v) 炎症誘発性サイトカインに特異的な抗体を提示しない、前記組成物。

【請求項 3】

前記バクテリオファージが W T ファージである、請求項 1 記載の繊維状バクテリオファ

ージ。

【請求項 4】

前記バクテリオファージが UV 照射されたファージである、請求項 3 記載の繊維状バクテリオファージ。

【請求項 5】

繊維状バクテリオファージが、M 1 3、f 1 および f d バクテリオファージ、並びにその混合物から選択される、請求項 1 記載の繊維状バクテリオファージ。

【請求項 6】

繊維状バクテリオファージが M 1 3 である、請求項 5 記載の繊維状バクテリオファージ。

【請求項 7】

バクテリオファージが WT ファージである、請求項 2 記載の組成物。

【請求項 8】

バクテリオファージが UV 照射されたファージである、請求項 7 記載の組成物。

【請求項 9】

組成物が鼻腔内投与のために製剤化される、請求項 2 記載の組成物。

【請求項 10】

組成物が脳内への注入のために製剤化される、請求項 2 記載の組成物。

【請求項 11】

繊維状バクテリオファージが、M 1 3、f 1 および f d バクテリオファージ、並びにその混合物から選択される、請求項 2 記載の組成物。

【請求項 12】

繊維状バクテリオファージが M 1 3 である、請求項 11 記載の組成物。

【請求項 13】

パーキンソン病に罹患した患者またはパーキンソン病に罹患し易い患者を処置するための薬の製造における、請求項 1 および 3 ～ 6 のいずれか一項記載の繊維状バクテリオファージの使用。